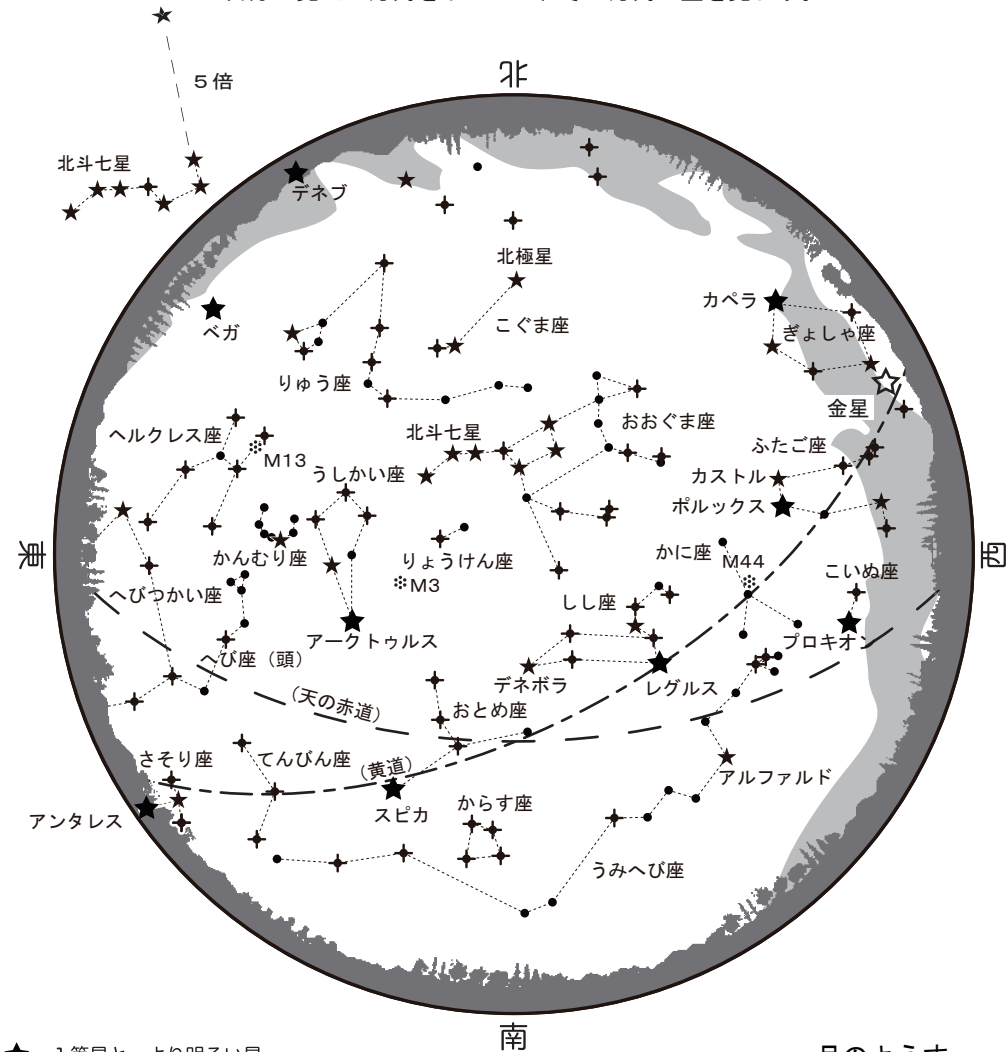


富山で見える 2020年5月の星空

北極星の見つけ方 自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見よう。



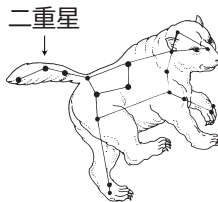
- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ⊛ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

～この星空が見えるのは～

- 5月 5日 午後9時ころ
- 5月 20日 午後8時ころ
- 6月 5日 午後7時ころ

～月のようす～

- 5月 1日 上弦 ☾
- 5月 7日 満月 ○
- 5月 14日 下弦 ☽
- 5月 23日 新月 ●
- 5月 30日 上弦 ☾



おおぐま座

北極星を探す目印として有名な、ひしゃくの形の「北斗七星」がある星座です。北斗七星は、おおぐまのおしりからしっぽの部分になります。ひしゃくの柄の端から2番目の星は、ミザールとアルコルという、肉眼でも分かる二重星です。



うしかい座

とても明るく輝くオレンジ色の星アークトゥルスが目印の星座です。「熊の番人」という意味があり、この星の明るさは0等星です。日本では「麦星」と呼んでいたところもあります。隣のりょうけん座は、この牛飼いの飼っている犬です。



おとめ座

青白く輝く1等星のスピカがある星座です。この星座は農業の女神デーメーテルの姿とも言われ、左手に麦の穂を持っています。そこに輝いているのがスピカで、とがった麦の穂の先という意味があります。



からす座

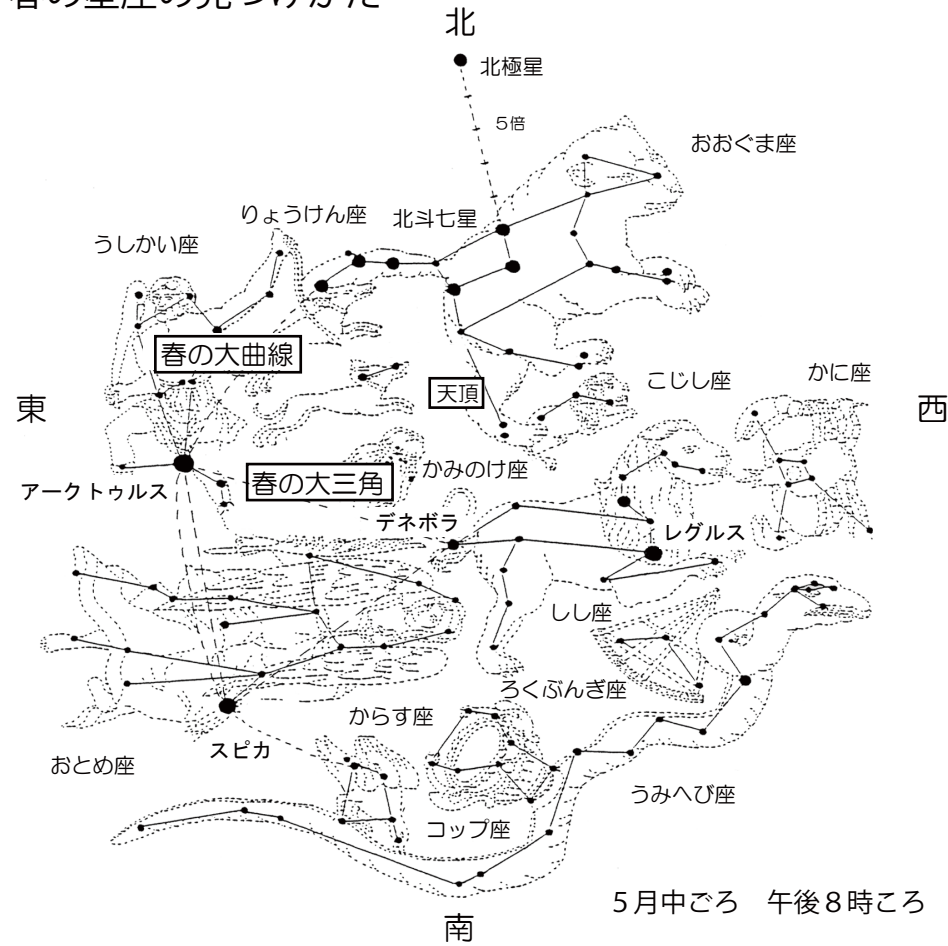
暗めの星4つが作る小さな四角形の星座です。ギリシャ神話では、黒いカラスが銀のクギで夜空にはりつけにされており、4つの星はそのクギであるとされています。日本では船の帆の形に見て「帆かけ星」と呼んだところがあります。



うみへび座

かに座の南に頭があり、暗い星を東へずっとたどって長いへびの形を作ります。88個の星座の中で最も大きな星座で、神話ではヘラクレスに退治された怪物ヒドラです。うみへび座の背中には、からす座が乗っています。

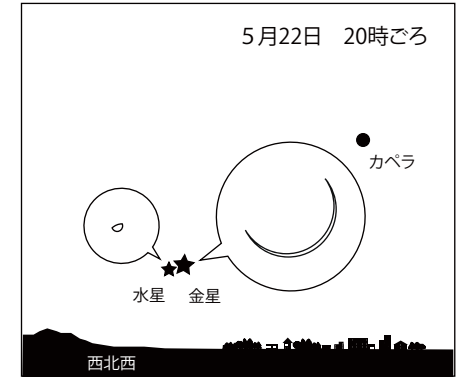
春の星座の見つけかた



- 1 北の空で、北斗七星を見つけます。
- 2 北斗七星の柄のカーブを伸ばし、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカ、からす座と続く「春の大曲線」を見つけます。
- 3 アークトゥルス、スピカ、しし座のデネボラでつくる「春の大三角」を見つけます。
- 4 デネボラの西側に、明るく輝くしし座のレグルスを見つけます。
- 5 星座の中で最も大きいうみへび座、2番目に大きいおとめ座、3番目に大きいおおぐま座を見つけてみましょう。

水星をさがそう!

夕方、西の空のとても低い位置に水星が見えています。5月22日には、水星と金星が大接近してなるので、金星を手がかりにさがしてみましょ。望遠鏡で見ると、水星は半月に近い形にまた金星は三日月の形になっているので両者の形のちがいもわかり、おもしろいですよ。



北陸の「白萩隕石」(富山)「根上隕石」(石川) 展示中

開館40周年記念「科学博物館のお!宝展」の天文コーナーにおいて、北陸で発見された「白萩隕石2号」(富山)「根上隕石」(石川)の実物を5月24日(日)まで展示しています。

日本に落下し回収された隕石の件数は、全部で52件。うち鉄隕石に分類されるものは9件で、富山県で発見された「白萩隕石」はその中の1件です。白萩隕石1号を材料とした刀「流星刀」も展示しており、幕末から明治時代にかけて活躍した榎本武揚が作らせたものとされ、歴史的にも貴重です。

もう一つは、お隣の石川県に落ちた「根上隕石」。その隕石が落ちてくる様子が、富山県内でも目撃されたそうです。

